

地域安全学会 2013年度第4回理事会 議事次第

日 時：2013年9月7日（土） 15：30～18：00

場 所：同志社大学東京オフィス（千代田区大手町2丁目6番2号 日本ビルヂング5階）

出席者：宮野道雄、立木茂雄、糸井川栄一、池田浩敬、岩田孝仁、大西一嘉、越村俊一、牧紀男、
松岡昌志、村尾修、森伸一郎、柄谷友香、市古太郎

委任状：大原美保、岡田成幸、清野純史、重川希志依、目黒公郎

欠 席：

事務局：竹本加良子、藤木理絵

配布資料：25-4-1 2013年度第4回理事会議事次第（宮野）

25-4-2 2013年度第3回理事会議事録案（藤木）

25-4-3 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡 プログラム案（宮野）

議題：

1. 前回議事録の確認（宮野：資料25-4-1）

11・その他-国際交流委員会、10・J-STAGEの漢字訂正済み

2. 会勢・会員管理関係（藤木：資料25-4-2）

・9/6(金)時点での会勢は以下の通りである。

	学生会員	正会員	総数
会員数	83	560	643
	入金済	未入金	合計
h25 会費状況	413	230	643
h24 会費状況	528	71	599

・メール未着会員33名に関して、理事でご存知の方16名に関しては、後日メールで連絡。

・収入と支出の勘定科目を揃えて欲しいと会計事務所より依頼があり、他に何か良い方法があれば会計士より提案頂きながら、委員会ごと(各担当ごと)で作成し検討してみるよう、決議した。

3. 学術委員会関係（牧）

・秋の研究発表会・論文No.21

投稿論文数57編、1次審査通過42編、秋季大会発表(再委託)30編(採択率52.6%)、移行論文6編、
取り下げ2編、不採用4編

秋の発表会は時間があると思われるので、前後で時間調整をする。

・電子ジャーナル論文集No.22(8/30の締切後)

全投稿数14編、査読8編+移行に回した6編

投稿数が少なかったため電子システムを利用せず直接投稿者とメールやりとりにて行う為、システム代金として30万の予算に対し、実質10万くらいの運用となる。

4. 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡（宮野：資料25-4-3(1)、(2)）

全部で 31 篇の提出があり、辞退 6 編により 25 編の発表・報告がある。5 項ずつ 5 つのセッションにして発表予定。

2013/9/21、22 についての送迎バスの発着の駅が水沢江刺→新花巻に変更。

5. 2013 年度秋季研究発表会（池田）

登録期限 9/27、原稿締め切り 10/11(ニューズレターNo.84、P4 参照)

学生バイト 3 人費用予定

6. 2014 年度春季研究発表会（市古）

長野県西部地震の大多喜村はキャパが小さいので、新潟地震(1964)が候補になった。
中越地震(2004 年 10 周年)の 2 候補で今後考える。

7. 防災学協会連合組織（牧・加藤）

12/2 の学術会議のシンポジウムに向けて事前に準備会(9/17)がある。

9/17 加藤先生・12/2 は宮野会長が出席

8. 広報委員会関係（柄谷：資料 25-4-4）

・ニューズレターNo.85 の内容確認

・国立国会図書館より連絡があり、当学会のニューズレターがオンライン資料に該当するので、申請する予定。

現時点でニューズレターNo.32(1999 年)以降は HP に up されているので、ここからのものを公開することを基本とする。

9. J-STAGE 登載について（松岡）

松岡先生がテンプレートにのせる準備中。9/9 に研修を受け資格をとり、XML に変換し up する。
(一回のせると修正不可)

No.20 をテストで乗せてみる。一度乗せたら修正ができないので、さいしょからきちんと乗せる事。

DOI(デジタルオブジェクト識別子)は、仮番号を取得済。JST 掲載時は doi が付く。

10. その他

(1) 日本地震工学会シンポジウムについて(松岡)

2014/12/4~6、第 14 回日本地震工学会シンポジウム：幕張メッセにて開催。(ニューズレターNo.84、45p 参照)

地域安全学会に、オーガナイズドセッションを立ててほしい。(学術部会からの提案)今までは、8~10 だったが、たくさんあっても良い。

(2) 10/21~25 台湾での ws について。

申し込み者を、立木、牧、田村にメールをする。 9/15 締め切り

(3) 大船渡 ws について

大船渡の市職員の食事代等、外部の方は招待とする。

次回理事会、11/15 発表終了後(仮時間予定)16:30~17:30 の、1 時間くらいで開催。